

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 藤の園

— 目 次 —

◆ 法人報告	1～4
◆ 役員を選任	5
◆ 役員会等の開催状況		
(1) 理事会	5、6
(2) 評議員会	6
(3) 委員会等	6
◆ 監査等		
(1) 札幌市	7
(2) 監事監査	7
◆ 研修実施状況	8
◆ 補助金受入状況	8
◆ 資金収支実績	9

1. 令和4年度 活動状況総括

昨年に続き、今年度もコロナ禍における感染対応が法人・施設・事業所では避けることのできない課題として立ちふさがった。とりわけ、特養・養護のある月形藤の園においては、そこで生活する高齢者の特性から対応を徹底してきたが、感染力の強いオミクロン株が北海道内で拡大し、11月15日に従来型特養から養護、ユニット型特養へと大規模クラスターが発生。スタッフも含め96名の集団感染を経験した。その間、介護や看護スタッフだけでなく、施設スタッフ総出の対応により一カ月ほどで収束を迎えることができた。仕事とはいえ、月形藤の園だけでなく羊丘藤保育園や花川聖マリアにおいても、利用者の生活や安全を守るため、献身的に努力してきたスタッフにあらためて敬意を表したい。

経営状況としては、物価高騰やクラスター発生による施設や事業所の入所・利用などが稼働に影響を与えた結果となった。すべての施設・事業所で感染症リスクとのバランスをとりながら、人材確保と定着が不安定な状況でクラスター発生までは順調だったが、発生後の利用者の欠員を埋めることができずに稼働率を押し下げる結果となった。そのような状況下で、社会的使命である事業継続に努めてきたところである。

月形藤の園は北海道より介護職員宿舎整備事業の補助金と「殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会」の多額のご寄付により、3月末に職員住宅として「ヨゼフ館」を建設することができた。今後の新規採用者や外国人人材の雇用確保の受け入れにあたって、次年度はその効果を期待できるところである。また、羊丘藤保育園においては今年度の札幌市との協議の末、保育所から認定こども園への移行を終えたところであり、次年度からは新たな体制で事業を実施していくことになる。花川聖マリアでは、事業の拡大に伴い公益事業適正化の見直しを行い、次年度の経営基盤をさらに固めている。

事業の詳細については次のとおりである。

2. 基本方針

1. 働きやすい職場づくり

1) 人材定着への取り組み

月形藤の園では、スタッフのスキルアップに対する意欲を促進することと、自身のスキルアップの証明として、資格手当を再検討し給与に反映した。また委員会活動など、施設への貢献度に対するものとして役割手当の導入を実施している。介護スタッフの人材確保が少しずつ充足に向かう中、従来の勤務シフト体制から2直変則交替勤務シフトに変更した。これにより一般スタッフの休日数と同じ体制が生まれ、介護スタッフの不公平感を是正している。

また、定年退職を60歳から65歳に延長することにより、その気があれば長く働き続けることのできる労働環境の改善を行い、その一方でアクティブシニアや障がい者雇用をはじめとするダイバーシティの取り組みにより業務負担の軽減を図っている。

2) 人材確保への取り組み

法人全体として、昨年度から準備していたホームページのリニューアルを5月に実施した。ブログやフェイスブック、インスタグラムなどのSNSの媒体を使い、法人情報の発信に努めている。昨年度10年ぶりに復活した北海道介護福祉学校の実習受け入れの継続や地域人材を発掘する月形高校のアルバイト導入など、福祉の仕事について理解を深めてもらう機会をつくり、高校生の受け入れを行った。

修学資金制度については、今年度も対象者がなく適用していないが、未経験者の資格取得支援を目的に活用している。

月形藤の園では、職員宿舍整備事業の進捗状況に伴い、外国人人材2名の採用面接を実施した。次年度は監理団体と連携し、受け入れ体制と育成体制を推し進めていく。



介護人材の確保がむずかしいとされているのに、高校生や専門学校、大学などへの求人活動の計画性がないことも浮き彫りになっており、スタッフの現状に対しての認識不足を大きな課題として反省し、次年度の行動計画として取り組んでいきたい。

3) ケア・保育の質の向上

コロナ禍で研修計画が予定通り進まず、研修自体が実施されないことも多い中、オンライン研修による資質向上のための研修に参加している。

月形藤の園では、令和3年度に導入した介護ロボットやICT環境が機器の不具合によりうまく作動せず、十分に活用する段階には至っていない。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の隙間を縫って、先進施設などへの視察を行うなど、活用に向けての取り組みを進めている。同時に介護記録ソフトの活用が十分に生かされていない状況が確認され、記録をケアに活かしていくための取り組みが今後の課題となっている。

人材育成については、OJT委員会を立ち上げ、新採用スタッフの育成にあたってきたが、新卒採用者だけでなく、中途採用者に向けたOJTの必要性が認識され、マニュアル化も視野に入れ、今後の課題として次年度に取り組んでいく。

4) 法人理念と実践の連動

委員会活動や運営会議を主軸とした組織運営を模索していたが、新型コロナウイルス感染の拡大と収束を繰り返す中、また人員の配置不足により、思ったように活動を進めることができなかった。特に委員会活動については、特定の委員会を除いて活動が十分ではなく、ボトムアップによる組織運営に支障をきたした。

羊丘藤保育園と花川聖マリアにおいては、最低でも月1回以上は事業所を訪問し、職場の課題や懸案事項について情報を共有し、その解決に向けての相談体制を整えた。特に抗原検査キットの融通など、新型コロナウイルス感染に伴う協力体制や情報共有をしっかりと行ってきた。

2. 安定した経営基盤の構築

1) 事業目標値の設定と可視化

施設・事業所の稼働率は予算に反映し、スタッフ全員が認識できるように周知を働きかけている。しかしながら、新型コロナウイルスによる影響は入所・通所・訪問などの事業形態が違っても影響が大きく、感染状況に応じた中での対応となった。

加算取得のための人員配置要件が困難であり、加算取得には至っていない。経営基盤の安定のためには加算の取得は必須項目であるが、人材確保が大きな壁となっており取得には至っていない。人材確保と定着に向けてのアプローチが、法人の経営状況に大きく影響していることを再認識し取り組んでいく。

2) 職員のコスト意識の醸成

職員会議等を通じ、それぞれの施設・事業所の経営状況を伝え、それぞれのスタッフが
できることを考えてもらうよう資料も含め、月次単位で情報提供を行った。

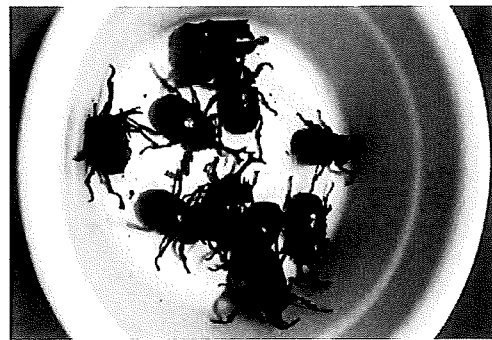
残業時間による支出について、月形藤の園では業務内容を改善することと、少しずつス
タッフ数が充実してきたことで減少傾向にある。また羊丘藤保育園では、スタッフへの周
知を図ることで大きく残業時間が減少している。

法人の勤怠管理は昔ながらの印鑑方式で行われているが、スタッフの「働き方改革」に
対する意識を高めていくこと、勤怠管理の効率化をすすめることを目的として、「クラウ
ド型勤怠管理システム」の導入を検討していく。

3. 地域とのかかわり

1) 地域社会資源の活用と情報発信

コロナ禍にあって、外部との接触を極力少
なくしてきた3年間であった。令和4年度に
およそ10年間更新のなかったホームページ
をリニューアルした。定期的にブログを更新
することで、閲覧件数が多い時には100件/
日を超えるとときもある。施設・事業所の情報発
信にとどまらず、人材確保のためのツールと
して今後も活用していく。



月形藤の園の自然環境を活かした活動としては、カブトムシを捕獲し、羊丘藤保育園に
保育の一環として活用できるよう提供した。新型コロナウイルスが緩和される次年度に向
けてさらにアイデアを拡大していきたい。

2) 家族や地域とのパートナーシップの形成

感染拡大が広まっていく中で対策を講じながら、それぞれの施設・事業所が工夫や努力
を重ねて家族や地域とのつながりを維持してきた。電話や文書による情報提供はもちろん
であるが、月形藤の園においては、家族が施設での生活がわかるように画像を添付し情報
提供を行った。また、オンライン面会や施設に対しての意見を積極的に聞き出し、施設ケ
アに活用することを試みている。羊丘藤保育園でも園児の保育に工夫を凝らし、コロナ禍
の制限があるなかで、対策を講じながら運動会やお泊り保育、発表会などを行ってきた。

地域に対しては、月形中学校や月形高校、北海道介護福祉学校からの要請に応じ、「福
祉の仕事」について理解が深まるよう講義・講演などを実施してきた。また、受け入れら
れる範囲で一方通行にならないよう、アルバイトの受け入れも行ってきた。

役員を選任

令和4年度の役員選任は、次のとおりである。

《理事選任》 (任期：令和3年6月18日～令和4年度決算に係る定時評議員会終結時まで)

阿部 アイ子	橋本 伸也	佐藤 秀雄
渡辺 寿子	渡邊 清子	棟 達也
保坂 昌知		

《監事選任》 (任期：令和3年6月18日～令和4年度決算に係る定時評議員会終結時まで)

渡邊 俊井	高野 司
-------	------

《評議員選任》 (任期：令和3年6月18日～令和6年度決算に係る定時評議員会終結時まで)

ゴ-ルトベック・エリザベト・マリア	須田 晟雄	田中和 男
初山 清仁	大林 啓二	三浦 信一
三戸部 隆	堀 広一	

役員会等の開催状況

令和4年度において審議された案件は、次のとおりである。

(1)理事会

開催年月日	出席者数	議 題	審議結果
令和4年 6月22日	理事6名 監事2名	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.収支状況 5.新型コロナウイルス対策状況 6.理事長及び常務理事の職務執行状況 7.法人指導監査指摘事項 8.月形藤の園職員寮新築 9.令和4年度第1回サービス検討会議 ①令和4年度 決算報告案 ②令和4年度 事業報告案 ③一般事業主行動計画の策定 ④規程改正案 ⑤令和4年度 補正予算案 ⑥評議員会の開催 ⑦羊丘藤保育園の認定こども園への移行	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決
令和4年 9月12日	理事7名 監事2名 (書面審議)	①月形藤の園職員寮建設に係る契約 ②月形藤の園職員寮建設に係る一般競争入札の執行	原案可決 原案可決
令和4年 10月21日	理事5名 監事2名	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.収支状況 5.新型コロナウイルス対策状況 6.理事長及び常務理事の職務執行状況 7.羊丘藤保育園の認定こども園移行 8.月形藤の園職員寮建設に係る入札 9.令和4年度第2回サービス検討会議 ①規程改正案 ②令和4年度 補正予算案 ③羊丘藤保育園改築十周年記念式典の開催 ④評議員会の開催	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決
令和4年 10月28日	理事7名 監事2名 (書面審議)	①月形藤の園職員寮建設に係る工事請負契約	原案可決

(1)理事会

開催年月日	出席者数	議 題	審議結果
令和5年 3月17日	理事6名 監事2名	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.収支状況 5.新型コロナウイルス対策状況 6.理事長及び常務理事の職務執行状況 7.月形藤の園職員寮建設状況 8.月形藤の園施設設備状況 9.羊丘藤保育園認定こども園移行状況 ①令和4年度 補正予算案 ②令和5年度 事業計画案 ③令和5年度 予算案 ④規程改正案 ⑤札幌マリア院公益事業 ⑥評議員会の開催	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決

(2)評議員会

開催年月日	出席者数	議 題	審議結果
令和4年 7月1日	評議員8名	1.監事監査結果報告 2.理事長専決事項 3.事故報告 4.収支状況 5.新型コロナウイルス対策状況 6.理事長及び常務理事の職務執行状況 7.法人指導監査指摘事項 8.月形藤の園職員寮新築 9.令和4年度第1回サービス検討会議 10.令和3年度 事業報告 11.規程改正 12.令和4年度 補正予算 ①令和3年度 決算報告案 ②羊丘藤保育園の認定こども園への移行	報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 報告了承 原案可決 原案可決
令和5年 3月29日	評議員8名 (書面審議)	①令和4年度 補正予算 ②令和5年度 事業計画 ③令和5年度 当初予算 ④規程改正 ⑤札幌マリア院公益事業 ⑥月形藤の園養護部契約入所	原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決 原案可決

(3)委員会等

サービス検討会議（第三者委員会）

開催年月日	開催場所	出席者	議 題
令和4年 4月15日	月形藤の園	委員3名 (書面審議)	1. 苦情及びサービス要望等受付状況 ・月形藤の園 ・羊丘藤保育園 ・花川聖マリア 2. 対応状況 3. その他
令和4年 10月7日	月形藤の園	委員2名	1. 苦情及びサービス要望等受付状況 ・月形藤の園 ・羊丘藤保育園 ・花川聖マリア 2. 対応状況 3. その他

監査等

(1)札幌市

令和4年度の指導監査等は、次のとおりである。

監査年月日	監査実施内容	監査結果
令和4年 8月25日	札幌市保健福祉局監査指導室による『令和4年度児童福祉施設に対する指導監査』 ◎対象施設:羊丘藤保育園	文書指導及び口頭指導は共に無し

(2)監事監査

法人本部、月形藤の園、羊丘藤保育園、花川聖マリアの監事監査は、次のとおりである。

監査年月日	監査実施内容	監査結果
令和4年 5月20日	1.令和3年度に係る事業報告等	・事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
	2.令和3年度に係る計算関係書類及び財産目録	・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。 ・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重点において適正に示しているものと認める。
	3.ご利用者の預り金	・ご利用者の現金及び通帳と台帳を照合し、適正な取り扱いであることを確認した。
	4.会計処理状況	・普通預金、小口現金及びその他について、総勘定元帳及び貸借対照表を基に適正に処理されていることを確認した。
	5.その他（運営状況等）	・新型コロナウイルス対策について、感染予防状況等を確認した。
令和4年 8月19日	1.ご利用者の預り金	・ご利用者の現金及び通帳と台帳を照合し、金額記載について1件の記載誤りがあったが、その他は適正な取扱いであることを確認した。
	2.会計処理状況	・普通預金、小口現金及びその他について、総勘定元帳及び貸借対照表を基に適正に処理されていることを確認した。 ・前年度補助金過計上分の科目訂正について指導した。 ・リース契約について適切な勘定科目で処理するよう助言した。 ・仮払金の残高について正しく振替るよう指導した。
	3.その他（運営状況等）	・出勤簿及び出退勤時間記載訂正について助言した。 ・新型コロナウイルス対策について、感染予防状況等を確認した。
令和5年 1月24日	1.ご利用者の預り金	・ご利用者の現金及び通帳と台帳を照合し、適正な取り扱いであることを確認した。
	2.会計処理状況	・普通預金、小口現金及びその他について、総勘定元帳及び貸借対照表を基に適正に処理されていることを確認した。
	3.その他（運営状況等）	・職員住宅建設の進捗状況を確認した。 ・外国人人材の採用について進捗状況を確認した。 ・羊丘藤保育園認定こども園への移行について進捗状況を確認した。 ・新型コロナウイルス対策について、感染予防状況等を確認した。
令和5年 2月17日	1.ご利用者の預り金	・ご利用者の現金及び通帳と台帳を照合し、金額記載及び日付記載について各1件の誤りがあったが、その他は適正な取扱いであることを確認した。
	2.会計処理状況	・普通預金、小口現金及びその他について、総勘定元帳及び貸借対照表を基に適正に処理されていることを確認した。
	3.その他（運営状況等）	・職員住宅建設について現場視察し進捗状況を確認した。 ・外国人人材の採用について進捗状況を確認した。 ・羊丘藤保育園認定こども園への移行について進捗状況を確認した。 ・花川聖マリアの小口現金取扱いについて出納簿記載方法を助言した。 ・札幌マリア院公益事業開始について進捗状況を確認した。 ・新型コロナウイルス対策について、感染予防状況等を確認した。

研修実施状況

令和4年度の法人に係る研修は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い参加を中止した。

補助金受入状況

令和4年度に受入れた補助金・助成金は 48,541,379 円であり内訳は次のとおりである。

補助金	養護部	特養部	羊丘藤保育園	花川聖マリア	本部	合計
福祉施設等就労定着支援事業 (月形町)					500,000	500,000
感染防止対策徹底支援事業 (月形町)	130,000	130,000				260,000
にこにこ生活応援事業 (月形町)	300,000	360,000				660,000
感染対策・雇用維持支援 事業交付金(月形町)	500,000	600,000				1,100,000
感染症対策体制整備事業 (月形町)	748,000	400,000				1,148,000
物価高騰対策支援金 (北海道)	550,000	630,000		50,000		1,230,000
緊急時介護人材確保・ 職場環境復旧等支援事業 (北海道)	6,648,000	14,250,000				20,898,000
小学校休業等対応助成金 (北海道)	40,810					40,810
介護処遇改善交付金 (北海道)		2,007,278		589,433		2,596,711
年賀寄附金配分 (日本郵便株)		2,000,000				2,000,000
時間外保育 (札幌市)			1,944,120			1,944,120
処遇改善臨時特例事業補助金 (札幌市)			1,727,296			1,727,296
一時保育利用料 (札幌市)			5,600			5,600
各種補助金 (札幌市)			10,671,210			10,671,210
障がい児保育事業補助金 (札幌市)			1,471,400			1,471,400
アレルギー食補助金 (札幌市)			148,000			148,000
光熱費補助金 (札幌市)			600,000			600,000
新型コロナウイルス感染症 対策事業費補助金(札幌市)			967,000			967,000
給食費高騰対策補助金 (札幌市)			352,000			352,000
借入金利息補助金 (札幌市)			221,232			221,232
合計	8,916,810	20,377,278	18,107,858	639,433	500,000	48,541,379

資金収支実績

令和4年度の資金収支実績は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分		R 2	R 3	R 4
事業活動 収入内訳	養 護 部	105,344,784	104,346,901	112,728,374
	特 養 部	127,825,205	112,990,888	138,342,882
	ユ ニ ッ ト	149,735,427	144,333,575	157,141,775
	羊丘藤保育園	139,917,908	134,715,866	139,263,909
	花川聖マリア	41,099,833	43,053,027	44,815,951
	花川聖マリア 公益事業	14,356,363	15,922,576	16,078,476
	法人本部 (修学資金含む)	7,438,986	1,939,565	53,036,997
	事業活動収入計	585,718,506	557,302,398	661,408,364
事業活動 支出内訳	人 件 費	411,220,647	408,963,976	424,243,390
	事 業 費	86,540,594	87,905,319	101,464,465
	事 務 費	61,968,482	66,768,591	72,316,426
	そ の 他	4,968,882	5,105,945	4,905,708
	事業活動支出計	564,698,605	568,743,831	602,929,989
事業活動資金収支差額		21,019,901	▲ 11,441,433	58,478,375
施設整備等資金収支差額		▲ 15,314,160	▲ 28,017,840	▲ 72,000,006
その他の活動資金収支差額		1,905,505	45,010,195	21,999,205
当期資金収支差額合計		7,611,246	5,550,922	8,477,574
当期末支払資金残高		150,378,397	155,929,319	164,406,893
積立金残高		140,496,574	89,409,574	61,317,574